



61 長守城 日野町佐久良
JR近江八幡駅乗換近江鉄道桜川駅から町営バス

佐久良城の支城と考えられる。主郭は土塁で囲まれた不整形であるが、隅の櫓台と考えられる部分には古様な石積みが見られる。




62 鳥居平城 日野町鳥居平
JR近江八幡駅乗換近江鉄道日野下車町営バス

尾根上に約800mにもわたり郭を配した、県内屈指の規模の城郭。各郭は堀切により画され、独立した城郭が連続しているようにも見える。



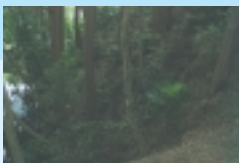
63 音羽城 日野町音羽
JR近江八幡または近江鉄道日野から近江バス

蒲生氏の居城。近江から伊勢に通じる要衝地にある。土塁と空堀を多用した典型的な中世城郭。城のほぼ全体が公園となっている。




64 中野城 日野町西大路
JR近江八幡駅乗換近江鉄道日野から町営バス

別名日野城。音羽城から移った蒲生氏の本城。大部分がダム建設により水没したが、石塁や空堀など、縄張りの一部が残る。




65 自加田城 愛荘町目加田
JR彦根駅乗換近江鉄道本線豊郷駅下車

六角氏の重臣目賀田氏の居城。典型的な方形単郭の中世城郭であるが、発掘調査により、岩倉川の船運を意識した、舟入が確認されている。



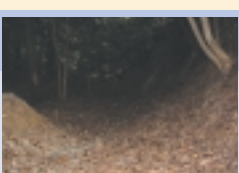
66 平居城 愛荘町平居
JR近江八幡駅乗換近江鉄道本線五箇荘駅下車

愛知井の管理への深い関与も考えられる、平井氏の居城と伝えられる。集落内に城郭のあったことを示す土塁が残る。



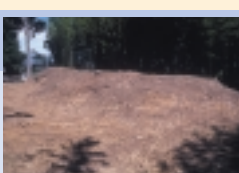
67 金剛輪寺城 愛荘町松尾寺
JR彦根駅乗換近江鉄道豊郷駅下車

金剛輪寺の境内には、多数の坊舎の跡が残るほか、本堂の裏山には堀切、空堀で構成された「城山」と呼ばれる城郭の跡が確認できる。




68 畑田城 愛荘町畑田
JR近江八幡駅乗換近江鉄道五箇荘駅下車

畑田集落の北西にあり、5～6箇所程度の郭により構成されていたと考えられる。土塁や堀が残存している。




69 那須城 豊郷町石畑
JR彦根駅乗換近江鉄道豊郷駅下車

豊郷小学校の南に土塁が残り、城郭のあったことを示している。「門根」と呼ばれる場所があり、中山道に向けた城門があったと考えられる。




70 勝楽寺城 甲良町正楽寺
JR彦根駅乗換近江鉄道尼子駅下車

京極道誉の命により築城されたのが始まり。信長の攻撃により廃城。近江の山城では珍しい畝状堅堀群の他、土塁や石垣も見ることができる。




71 尼子館 甲良町尼子
JR彦根駅乗換近江鉄道本線尼子駅下車

京極氏の流れをくむ尼子氏の居城。京極道誉の住した勝楽寺の防御のための城とも言われる。土塁と堀跡が残る。




72 敏満寺城 多賀町敏満寺
近江鉄道高宮乗換多賀大社前下車又はJR彦根からバス

大きな経済力を背景に栄えた敏満寺に連続する城郭。浅井・織田と相次いで戦い、灰燼に帰す。巨大な土塁、井戸などが残る。




73 高取山城 多賀町入谷
JR彦根駅または近江鉄道鳥居本駅下車

堀切、土塁、堅堀等で構成される大規模な山城であるが、文献等に一切現れてこない謎の山城。16世紀後半の築城と考えられる。




74 久徳氏城 多賀町久徳
近江鉄道高宮乗換多賀大社前下車又はJR彦根からバス

京極氏の家臣久徳氏が築城。芹川を外堀とした平城。館を囲むように土塁や堀跡が残る。屈曲した集落内の道に、館の面影が残る。




75 彦根城 彦根市金亀町他
JR琵琶湖線彦根駅下車

西国への防御拠点として、幕府の命により天下普請として築城。国宝天守、名勝大名庭園が残る。世界遺産登録を目指している。




76 佐和山城 彦根市佐和山町
JR琵琶湖線彦根駅下車

江北、江南の境目の城として、古くから重視されてきた城郭。織田信長の宿城としても機能した。石田光成が城主の時代に大規模に改造される。




77 肥田城 彦根市肥田町
JR琵琶湖線稲枝駅下車

宇曾川平野に残る。六角氏と浅井氏の攻防戦「肥田城水攻め」の舞台として有名。後に信長もこの城を重視し、蜂屋頼孝を入れる。



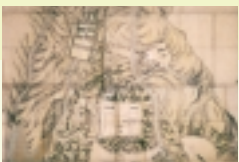
78 山崎山城 彦根市稲里町他
JR琵琶湖線河瀬駅下車

朝鮮人街道を見下ろす丘陵に残る。上洛を目指す信長の命により築城されたと考えられる。安土城と同時期の石垣が良好に残る。




79 上平寺城 米原市上平寺
JR東海道本線近江長岡駅下車バス

京極氏の本城。山城部分と居館部分から構成される。山城は、姉川の合戦に際し大きく改造されている。居館部には豪壮な庭園が残る。




80 鎌刃城 米原市番場
JR琵琶湖線米原駅下車

近江、美濃の境目の城として重視されてきた城郭。発掘調査により、高石垣や礎石建物を配した、先進的城郭であることが明らかとなった。




81 太尾山城 米原市米原、西円寺
JR琵琶湖線米原駅下車

美濃と近江、江北と江南の境目の城として機能。尾根上に築かれた南北二城により構成される「別城一郭」の城郭。建物礎石が見つまっている。




83 大原氏館 米原市本市場
JR東海道本線近江長岡駅下車

近江源氏佐々木氏を祖とする大原氏の居館。城主の屋敷のあった、100m四方ほどの範囲が土塁と堀によって囲まれ、残っている。




85 弥高百坊 米原市弥高
JR東海道本線近江長岡駅下車バス

伊吹山寺を前身とする寺院であるが、戦国期に京極氏あるいは浅井氏の手により城塞化する。巨大な堀切や、石垣を用いた虎口などが良く残る。




87 太平寺城 米原市太平寺
JR東海道本線近江長岡駅下車バス

伊吹山四ヶ寺の一つ。北近江の守護京極氏は、始め山岳寺院の立地と施設を利用し、城郭に改造し、本拠としていた。雛壇状の地割りが残る。




89 横山城 長浜市堀部町・米原市烏脇他
JR北陸本線長浜駅下車バス

古くから戦略上の拠点として重視された城郭。姉川の合戦後、信長の命により、秀吉が城主となり、小谷城に対する押さえとして用いられた。




91 上坂氏館 長浜市西上坂町
JR北陸本線長浜駅下車バス

京極氏、浅井氏に仕えた上坂氏の居館。土塁や堀が部分的に残り、往時の様子を再現することができる。姉川の合戦の舞台ともなる。




93 東野館 長浜市東野
JR北陸本線虎姫駅下車バス

東野氏の居館で、愛宕神社境内を中心とする地域に土塁や堀の跡が残る。賤ヶ岳の合戦では、羽柴軍の堀秀政が砦を築いたとされる。




95 宮部城 虎姫町宮部
JR北陸本線虎姫駅下車

豊臣秀吉の家臣で、後に鳥取城主となった宮部継潤の居城。小谷城攻防戦の際に、織田方により改造されたと伝えられる。現在神社境内。




97 山本山城 湖北町山本
JR北陸本線高月駅

西野山丘陵の先端、山本山に位置する。湖上交通を押さえるための小谷城の支城。土塁と堀により構成された縄張りが良く残っている。




99 中島城 湖北町丁野
JR北陸本線河毛駅下車

小谷城攻防戦に際して、朝倉方が築いた城郭。丁野山城と近接するにもかかわらず、主郭に土塁を用いるなど、異なる縄張りが残る。




82 長比城 米原市長久寺
JR東海道本線柏原駅下車

近江最東端の城郭。姉川の合戦に際し、信長の侵攻に備えて築城。しかし、戦うことなく廃城となったため、築城時の形状を良く残している。




84 八講師城 米原市梓河内
JR東海道本線柏原駅下車

標高480mの急峻な山上にある。主郭部分には、石垣で構成された虎口や石段、建物の礎石などが残っている。




86 地頭山城 米原市三吉・寺倉
JR琵琶湖線米原駅下車

標高249mの急峻な山頂にある。眼下に中山道を見下ろす。浅井氏と六角氏の攻防の舞台となった。土塁を伴わない古様な縄張りが残る。




88 長浜城 長浜市北船町
JR北陸本線長浜駅下車

羽柴秀吉が信長の命を受け、湖北および湖上交通の押さえとして築城した水城。今日の長浜の基礎となる。山内一豊も城主として在城。




90 下坂氏館 長浜市下坂中町
JR北陸本線田村駅下車

京極氏、浅井氏に仕えた湖北の土豪下坂氏の居館。堀、土塁による屋敷の地割りが良好に残り、中世武士の世界を今に伝える。




92 三田村城 長浜市三田町
JR北陸本線長浜駅下車バス

京極氏、浅井氏に仕えた三田村氏の居館。発掘調査により数次にわたる改造が確認されている。姉川の合戦時には朝倉景建の本陣が置かれた。




94 虎御前山城 虎姫町中野
JR北陸本線虎姫駅下車

小谷城の正面に位置する丘陵上にある、小谷城攻防戦における織田勢の前線砦群。尾根上に織田方武將の陣跡が明瞭に残る。




96 小谷城 湖北町伊部、郡上他
JR北陸本線河毛駅下車徒歩

江北の雄、浅井三代の居城。小谷山山頂の大嶽郭から張り出した尾根に築かれた多数の郭と、麓の清水谷に整備された居館部分により構成される。



98 丁野山城 湖北町丁野
JR北陸本線河毛駅下車

小谷城攻防戦に際して、小谷城防御のため、浅井氏を支援する朝倉氏が築城。主郭部に土塁を用いない特殊な縄張りが特徴。



100 磯野山城 高月町磯野、松尾
JR北陸本線高月駅

浅井氏の有力家臣である磯野氏の居城。郭に土塁や堀を用いず、堅堀、堀切で防御する、古い城郭の形式を留める。近江最古級の城郭である。

